

インテック・ネットコア

IPアドレス枯渇対応
アプリケーションの
チェックリストを無料で公開

インテック・ネットコアは、「IPアドレス枯渇対応アプリケーションチェックリストα版」を開発し、一般公開した。IPv4アドレス枯渇に伴うインターネット環境の変化に対応するための、アプリケーション改修のチェックリストにあたる。

2011年にはインターネット上のIPv4アドレスの枯渇が予想される中、切り替えは容易に進まず、5年以上かかる同社では考えている。このチェックリストはネットワークアプリケーションが枯渇後の「まだらネット」でも正しく動作するよう開発上の注意点をまとめたもの。多くの開発者に無料で利用してもらい内容を一層充実させることで、IPアドレス枯渇問題への対応に貢献していく。

インテック・ネットコア
● ホームページにて無料公開
<http://www.inetcore.com/material/index.html>

フラッシュニュース

- インテック**
県にボート艇庫を寄付 競技力向上に(10月13日)
- 新川インフォメーションセンター**
NICE TV 開局10周年祝う(11月1日)
- ITホールディングス**
中間連結決算およびソランへのTOBを発表(11月10日)
- インテック**
中尾会長、天皇陛下即位20年式典に出席
宮中茶会に参加(11月12日)
- イーソリューションズ**
次世代環境都市開発へ「スマートシティプロジェクト」発表

クラウド・スコープ・テクノロジーズ

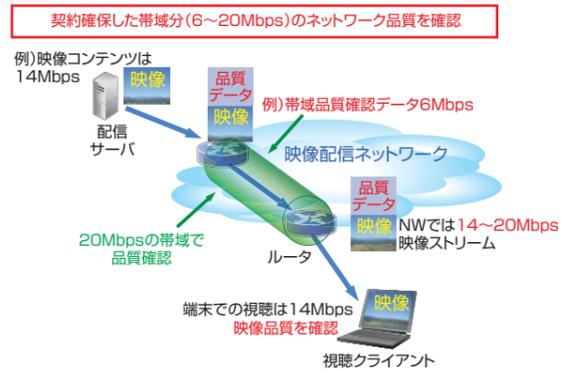
配信品質の確認ができる映像配信システム
「KICHIEMON」を発売

クラウド・スコープ・テクノロジーズは、業界初の配信品質の確認が可能なインターネット映像配信システム「KICHIEMON」の提供を2009年12月から開始した。

これまで、インターネットの映像配信時にはサーバや配信ネットワーク、端末などに問題があるなどして品質確認が難しいのが実情だった。

「KICHIEMON」はこの課題を克服し、映像コンテンツには手を入れずに、映像を配信する側と視聴する側が、NGN (Next Generation Network) などの配信経路の品質を確認できる映像配信システム。配信数によらず安定した配信レートが取れることや、ユーザが品質確認用の帯域を変更できる仕組みを持つ。また、RTPに準拠したパケットロス、ジッタ測定情報が付加可能で信頼性が高く、配信サーバ規模に合わせた高い拡張性も実現。IPv4/IPv6のユニキャスト・マルチキャストの配信が可能など多様性にも優れている。

お問い合わせ先:クラウド・スコープ・テクノロジーズ 営業部 TEL:(03)3403-8321



ITホールディングス

ITホールディングス クラシック・スペシャル「第九」特別演奏会

ITホールディングス株式会社は、2009年12月27日(日)に東京赤坂のサントリーホールにて開催された日本フィルハーモニー交響楽団の特別演奏会に協賛した。演奏会では、一年を締めくくる風物詩として定着したベートーヴェン「第九交響曲」が演奏された。指揮者は「炎のマエストロ」こと小林研一郎氏。高名なテノールの錦織 健氏をはじめ、国内外の一流声楽家を配した独唱陣が出演した。

演奏会に会場した1,800人の観客は日本フィルハーモニー交響楽団の素晴らしい演奏や、独唱陣の美声に酔いしれた。

ITホールディングス協賛
日本フィルハーモニー交響楽団「第九交響曲」特別演奏会

日 時	2009年12月27日(日) 14時30分～	
会 場	サントリーホール	
演奏内容	ベートーヴェン「交響曲第九番(合唱)」他	
出演者	指揮 小林 研一郎	テノール 錦織 健
	ソプラノ 菅 英三子	バリトン 青戸 知
	アルト 相田 麻純	合 唱 日本フィルハーモニー協会合唱団 他

インテック

金岡社長年頭所感(要旨)



2010年、新たな10年間、2010年代のはじまりです。政治、経済、地球環境など、内外の諸課題山積の中、この厳しい環境を乗り切るキーワードとして、聖徳太子が唱えた「和」の一字を提示したいと考えます。

「和」と過去お話ししてきた「多様性」とはどのような関係にあるのでしょうか。和を強調する際に使われる「結束」という言葉を考えてみましょう。結束とは文字通り、結ぶこと、束ねることです。それぞれ特徴のある個、多様な存在を、結び、束ね、全体として環境に負けない力強い集合体に組織していく、それが結束です。合金のように無理やり均質なものにすることではありません。すなわち、多様性を尊重しつつ、一定の組織目的を果たすためには、和が大切といえます。

今年は寅年です。虎穴に入らずんば虎子を得ず。和の精神、グループの結束を大切にしつつも、虎の尾を踏む覚悟で大胆に物事を進め、IT技術による明るい未来をともに切り開きましょう。

ネクスウェイ

本部・店舗間コミュニケーション
分析サービスを開始

ネクスウェイは2009年10月から、多店舗展開をしている流通、小売業向けの新サービス、「本部・店舗間コミュニケーション分析サービス」の提供を開始した。

同サービスは、企業の本部が各店舗との間でメール・FAX・電話などで日々やりとりする業務連絡について、量や効率などを測定し分析するユニークなもの。本部から店舗への指示が適切か、店舗が指示を処理できているかなどを調べ、組織の意思疎通の度合いを診断する。これにより、本部から店舗への業務指示の徹底や、コミュニケーションロスによる生産性の低下の防止、コミュニケーションの効率化によるコスト削減などを支援する。

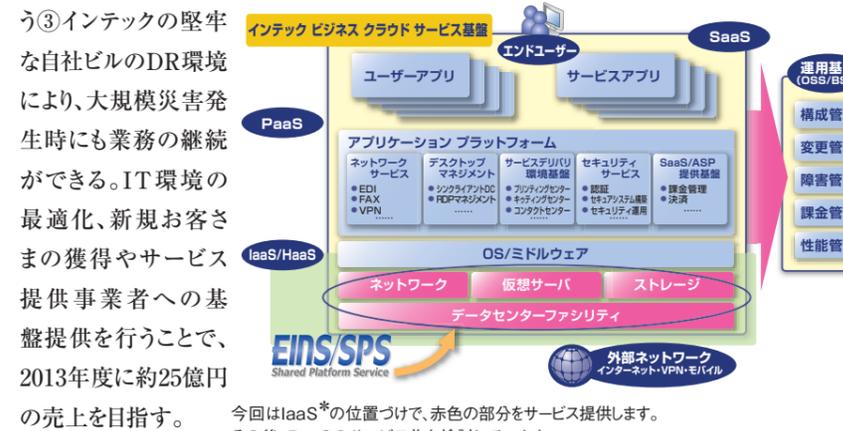
お問い合わせ先:
ネクスウェイ TEL:03-4541-1626

インテック

「EINS/SPS」提供開始
～高品質・高可用性のエンタープライズ向けクラウドサービス基盤～

インテックは、ネットワーク&アウトソーシングソリューション「EINS」に、新たに仮想化技術を取り入れたIT基盤サービス「EINS/SPS」(アインス/エスピーエス)を追加、2010年3月から提供を開始する。また、大規模災害発生時にもお客さま業務の継続性を確保する「ディザスタリカバリ環境提供サービス」も2010年6月から開始する。

「EINS/SPS」は、①仮想化技術(サーバ、ストレージ、ネットワーク)と高い信頼性を持つデータセンターにより、高品質なIT基盤サービスを提供する②月額サービス利用課金によって、お客さまIT資産の最小化・効率化を実現、最適ナリソース配分を行う③インテックの堅牢な自社ビル



お問い合わせ先:インテック N&O事業推進部 TEL:(045)451-2398